

小学生・中学生を対象にした合唱活動の活性化への試み

1 掛川市内音楽教育懇談会設置について

(1) 目的

これは合唱だけに限らず、他の分野でも多かれ少なかれ抱えている課題であると認識する。

つまり少子化による担い手不足である。この合唱の担い手（合唱活動を推進する人材～小学校・中学校・高校で合唱活動をする生徒の育成・指導者の育成）を育成することが急務と考えるからである。

(2) 課題

ア 掛川市内音楽教諭のネットワーク（協力体制模索）づくり

イ 合唱の魅力とは何だろうか。

ウ なぜ育たない小学校・中学校での合唱人口

エ 結局は、合唱指導者によるのであるが、そこをどのように変えていくか。

オ 小学生を中心とした児童合唱の指導法研究

カ 高校合唱部との関わり場面の設定

キ 大学等との連携

ク 他県での実践事例の研究

(3) 方策

ア 「掛川文化クラブ」主催により、掛川市内音楽教諭の任意の連絡会議を開催する。

「テーマ」 掛川市の芸術教育の現状と課題

・各学校の現状報告と課題

・共通する課題について

・合唱教育の必要性について

イ なぜ育たない。小学校・中学校の合唱人口（合唱連盟の加盟校及び生徒数を基準としている）

a 考えられる要因

・教諭個人の問題

合唱に興味が無い / 校務が忙しい / 部活動として担う必要を感じない

・学校の考え方

教員の負担になる / 新たに部活動を設立する必要性を感じない / 学校予算の問題

・学校内での活動で満足している。

特に中学校等で行われている合唱コンクールの意味付けによるもの

そもそもクラス団結等を優先としているため「合唱音楽」という本質的意味を知らないで活動している。

・その他

b 静岡県における合唱人口の現状

別紙調査による

ウ 小学生を中心とした児童合唱の指導法研究

エ 高校合唱部との関わり場面の設定

キ 大学等との連携

ク 他県での実践事例の研究